

議 事 録

公開 可 否

配布先	主催	No.
議事録名 佐久市高齢者福祉部会議事録	部 長	次 長
第3回介護保険事業計画等策定懇話会	高齡者福祉課長	係長
日 時	平成29年12月22日	開催場所 市民創錬センター大会議室
		時間 13:30~14:30
出席者	和田裕一・矢羽田明美・金澤秀典・甘利光治・大森健 伊藤雅章・小平實・花岡文夫・原丈夫・横森英世 (欠席) 佐藤悦生・中條みゆき・中村美登里・渡辺かおり	出 10名 欠 4名
提出資料	1 「佐久市老人福祉計画・第7期佐久市介護保険事業計画」素案について	
(次第)		
1 開会	高齡者福祉課長 【山崎課長あいさつ】	
2 会長あいさつ	【金澤会長あいさつ】	
3 審議事項	(1) 「佐久市老人福祉計画・第7期佐久市介護保険事業計画」素案について	
	【高橋係長より説明】	
金澤会長	7期計画では、日常生活圏域の見直しというところが、1つポイントではありますが、見直しに至った経緯をご説明いただきたい。	
山崎課長	高齡者人口の増加、特に75歳以上の高齡者の増加から、今後の高齡者施策を見据える中できめ細かな活動をしていくためです。見直しは、区、中学校単位とし地域づくりを鑑みたエリア分けとして整備をします。	
金澤会長	もう1つのポイントとして、施設整備がございます。特に特養の需要、待機者は、いかがでしょうか。	
山崎課長	現在、介護度3以上の方は、H29.3時点で320人ほど。このうち在宅でサービスを受けている方が、120人ほど、それ以外の方は老健・高齡者住宅・GHなどに入所されています。在宅で施設を希望されている方が122人。7期では、施設整備については表にあるとおりであり、新たな施設を建てるよりは、今ある施設を活用していきます。	

議 事 録

公開 可 否

工藤部長	<p>施設整備の影響といたしまして、1つは介護保険料への影響。もう1つは、介護人材が不足している中で、新しい特養等を建てた時に介護人材の影響は大丈夫だろうか。そういった状況を鑑みまして、7期におきましては、既存に整備されております有料老人ホーム等を、介護付に移行しまして、施設内でサービスを提供できるようにするものであります。特養の施設整備につきましては、2025年を見据えながら、状況をみて、今後の整備も考えていかなければならないと考えているところでございます。</p>
花岡委員	<p>国では、10兆円の介護保険料が20兆円に増えるという試算があるという。今後、保険料があがることを危惧をしている。保険料は、どうなりますか。</p>
山崎課長	<p>7期は5,650円程度、2025年には7,000円程度になると予測している。7,000円にならないように努力していきたいと考えております。</p>
工藤部長	<p>第7期保険料につきましては、現在発表されている制度改革について算定に反映させて、6期と同額の5,650円程度となっております。プラス0.54%の介護報酬改定が発表されておりますけれども、それほど保険料に影響はないと考えております。</p>
和田委員	<p>特養の関係で、入所待ち、入所期間の話がありましたが、昨年100人でオープンしまして、現在入所待ちの方が要介護度3で120人くらいいる。今のところ待機期間は1年くらい。要介護度3以降となり、要介護度4・5の方が少なくなってきた。要介護度認定の基準が変わったことと、4・5の方が優先して入ってしまうので、待機者は要介護3が多い。3の方は比較のお元気な方、これで3の方が増えると退所者がいなくなってくる。これから申込をされる方は待機期間が延びてしまうと思う。今後は、入所待機者は増えてくる可能性がある。施設を作っても職員がいなくて困るというのは、現場でも同じ考えである。</p>
横森委員	<p>介護認定の審査が厳しくなっている傾向がある。軽い方へと審査される傾向がある。佐久はどうでしょうか。</p>
山崎課長	<p>認定が厳しくなっているという声をお聞きすることはありますが、基準に則って行っております。</p>
加藤係長	<p>平成28年度から総合事業が始まり、一時的に認定者は減りましたが、また戻ってきておりますので、増えていくと思います。</p>
金澤会長	<p>他にご意見等はよろしいでしょうか。それでは、これで第7期介護保険事業計画素案をご承認いただくということでよろしいでしょうか。</p> <p>委員さん了承。</p>
<p>4 閉会 高齢者福祉 課長</p>	<p>【山崎課長あいさつ】</p>